

# 令和6年度(2024年度) 文化行政の概要



## 文化振興施策の総合的な推進

文化振興条例および文化振興基本方針(第3次)に基づき、文化振興施策の総合的な推進を図る。

### 文化振興条例

文化の振興に関する基本理念、県の責務、基本的施策等を明示するとともに、文化振興基本方針の策定について定める。

【策定経緯】 平成13年(2001年) 12月 文化芸術振興基本法制定  
平成19年(2007年) 9月 「滋賀の文化振興のあり方」提言  
平成21年(2009年) 7月 「滋賀県文化振興条例」制定  
平成23年(2011年) 3月 「滋賀県文化振興基本方針」策定

### 滋賀県障害者文化芸術活動推進計画

社会情勢の変化、計画(第1次)での課題等を踏まえ、令和6年3月に「滋賀県障害者文化芸術活動推進計画(第2次)」を策定。

- 計画期間:令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)
- 位置づけ:障害者文化芸術推進法第8条第1項に基づく計画

基本目標 「誰もが自分らしく文化芸術に親しみ、人と人がつながる滋賀」

3つの施策の方向(柱)	主な取組
1 親しむ (インクルーシブな文化芸術の推進)	(1)鑑賞の機会の充実にむけて (2)創造の機会の拡充にむけて (3)継続的な発表の機会の確保にむけて
2 つながる (文化芸術活動を通じた社会参加の促進)	(1)障害に対する理解促進にむけて (2)障害者の文化芸術活動の社会的・経済的価値の理解促進にむけて
3 支える (地域の障害者文化芸術の推進)	(1)障害者の文化芸術を支える人づくりや共生社会に資するプログラムの企画・運営にむけて (2)地域における文化芸術活動の継続的な取組にむけて

＜施策展開の大切な観点＞  
子ども・子ども・子ども

計画の推進 行政、文化団体、文化施設、障害者施設、地域等と連携し、取組を進めるためネットワークの体制や構築を図る。

### 文化振興基本方針

人口減少・高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症の影響等、社会情勢の変化を踏まえ、令和3年3月に「滋賀県文化振興基本方針(第3次)」を策定。

- 取組期間:令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)
- 位置づけ:条例第4条に規定する文化の振興に関する基本的な方針  
文化芸術基本法第7条の2に規定する地方文化芸術推進基本計

基本目標 「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」

#### 施策の方向性

- 1 県民誰もが文化芸術に親しみ、多様な主体や世代等がつながる場をつくる
- 2 文化芸術をつなぎ支える人材や文化芸術の創り手や継承者を育む
- 3 文化芸術の多様な価値を地域づくりや他分野に活かし、活力ある滋賀を創る

施策の柱	重点施策
1 場をつくる	1 誰もが文化芸術に親しめる場の提供 2 多様な主体がつながる文化芸術活動の促進
2 人を育む	3 文化芸術をつなぎ支える人材の育成・確保 4 文化芸術の創り手や継承者の育成・支援
3 地域や社会に活かす	5 地域で育まれてきた文化的資産の発掘・保存・活用 6 文化芸術と他分野との有機的な連携の促進

滋賀の美の魅力発信  
施策横断プロジェクト

施策展開の観点 「つながる」 文化芸術によって、人、地域および世代等のつながりが生まれるよう、施策を展開

推進体制 多様な主体とのつながりによる連携・協働の推進  
(文化団体、民間団体、文化施設・教育機関、市町、国、他の地方公共団体等)

## 施策の柱1 場をつくる

文化芸術に親しめる場をつくることで、誰もが文化芸術に居場所や生きがいを見いだせ、多様な主体や世代等による交流や相互理解が進むことを目指す。

### 滋賀県芸術文化祭

県民の文化芸術に関する意欲的な公演および創作発表を奨励するとともに、文化芸術に親しみ鑑賞する機会を広く県民に提供することにより、県民文化の高揚を図ることを目的として、昭和46年から「滋賀県芸術祭」を開催。(平成12年度から「滋賀県芸術文化祭」に名称変更。)令和6年度で54回目となる。

- 主催：  
滋賀県、滋賀県芸術文化祭実行委員会(各県域文化団体の代表、市町教育長の代表等で構成)、県教育委員会、(公財)びわ湖芸術文化財団
- 実施事業：  
＜オープニングイベント＞(実施日)8月24日(土)  
(会 場)県立文化産業交流会館  
(内 容)0歳児からのコンサート  
文化団体によるパフォーマンスステージ  
文化団体によるワークショップ 等

#### <主催事業>

- 美術展覧会:(展示期間)12月5日(木)～10日(火)(前期:工芸・書)  
13日(金)～18日(水)(後期:平面・立体)

(会 場)滋賀県立美術館  
(内 容)「平面」「立体」「工芸」「書」の4分野

- 写真展覧会:(展示期間)10月8日(火)～14日(月・祝)

(会 場)滋賀県立美術館  
(内 容)単写真・組写真

- 文 学 祭:(作品募集)7月1日(月)～8月31日(土)

(表 彰 式) 11月23日(土・祝)  
(会 場)滋賀県立男女共同参画センター

(内 容)小説・随筆・詩・作詞・短歌・俳句・川柳・短歌の8分野

- <参加事業> 芸術祭開催期間中に、市町、学校、文化団体、企業等が自主的に実施する芸術文化事業で、芸術文化祭の趣旨に沿ったものとして実行委員会が承認した事業。



### びわ湖ホール舞台芸術体験事業(「ホールの子」事業)

県内の子どもたちが優れた舞台芸術に触れる機会を提供するため、県内小学生等をびわ湖ホールに招き、オーケストラとびわ湖ホール声楽アンサンブルによる音楽公演を実施する。

- 公演の概要：  
●対象…県内小学校(国市町私立)、特別支援学校、各種学校(一般教養)、適応指導教室等  
●内容…びわ湖ホール声楽アンサンブルとオーケストラによる音楽公演(約60分間)
- 交通費の補助：  
次の各号の経費に対して実費相当額を補助する。  
(1)バス等の借り上げに要する費用および有料道路の通行料金  
(2)児童生徒が電車、路線バス等の公共交通機関を利用する際の運賃
- 参加人数

年度	学校数	児童生徒数
平成29年(2017年)	121校	8,194人
平成30年(2018年)	124校	8,544人
令和元年(2019年)	137校	10,007人
令和2年(2020年)	中止	中止
令和3年(2021年)	103校	7,153人
令和4年度(2022年)	142校	9,853人
令和5年度(2023年)	173校	10,049人
令和6年度(2024年)(見込み)	182校	12,588人



昨年度の様子



- 令和5年度 市町等別内訳  
大津市23校1,604人、彦根市16校1,013人、長浜市18校881人、近江八幡市6校327人、草津市13校1,398人、守山市5校314人、栗東市7校584人、甲賀市14校581人、野洲市7校563人、湖南市5校290人、高島市14校345人、東近江市14校655人、米原市6校272人、日野町4校183人、竜王町2校106人、栗田町2校126人、豊郷町2校113人、甲良町2校106人、県立8校291人、国立2校224人、各種学校2校70人、青少年立ち寄り支援センター1校3人

## 施策の柱1 場をつくる

### 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

独自の自主制作による創造活動を基礎としながら、県民をはじめ多くの方々に国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わえるよう、多彩なジャンルで国内外の優れた公演を開催する。

- ◆施設概要◆(平成10年9月5日開館)

- ◇ホール・敷地面積 20,000㎡(大津市から借地)  
・建築面積 13,960㎡ ・延床面積 28,940㎡  
・客 席 数 大ホール1,848席、中ホール804席、小ホール323席  
・そ の 他 リハーサル室、練習室(3室)、レストラン等  
◇駐車場・敷地面積 9,485㎡(県有地)  
・駐車台数 普通自動車(849台)、バス(3台程度)



### びわ湖ホール管理運営委託(指定管理)

<指定管理者>  
公益財団法人びわ湖芸術文化財団

- ◆びわ湖ホールの主な事業◆

オペラ	オペラへの招待「竹取物語」(11月23日、24日)、「三文オペラ」(1月24日～27日)、プロデュースオペラ「死の都」(3月1日、2日)
オーケストラ	ジルヴェスター・コンサート(12月31日)、マーラー・シリーズ(3月9日)、子どものための管弦楽教室(3月20日)
室内楽	名曲コンサート「サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル」(2月16日)、室内楽への招待(4公演)、びわ湖の午後シリーズ(2公演)、気軽にクラシック(2公演)
ダンス	Noism0/Noism1 金森雅/近藤良平 新作公演(2月1日)
演劇・古典芸能	野村万作・野村萬斎狂言公演(12月7日)、二兎社公演「こんばんは、父さん」(開催日時未定)
音楽祭	びわ湖の春 音楽祭2024(4月27日、28日)
普及事業	びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！(5月29日～31日、6月1日、4日～6日(1日は一般公演)、学校巡回公演、ふれあい音楽教室)
専属声楽アンサンブル	定期公演、美しい日本の歌、県内巡回オペラ「泣いた赤おに」

### 滋賀県立文化産業交流会館

県立文化施設における北の拠点として、地域や施設の特性を活かし、優れた舞台芸術の創造や文化、産業の振興を図る。また、公益財団法人びわ湖芸術文化財団法人本部地域創造部を拠点にして、県内の文化ホールや地域等と連携協働し、全県域を対象とした特色ある滋賀の文化・芸術振興の推進を図る。

- ◆施設概要◆(昭和63年4月22日開館)

- ・延床面積 10,561.04㎡  
・客 席 数 イベントホール2,000席(36m×38.8m)、小劇場203席  
・そ の 他 練習室(2室)、会議室(5室)、バスポート窓口、びわこ文化センター、SOHOビジネスオフィス



### 文化産業交流会館運営委託(指定管理)

<指定管理者>  
公益財団法人びわ湖芸術文化財団

- ◆文化産業交流会館の主な事業◆

公演制作	長栄座夏のフェスティバル2024(7月27日、28日) 「シエナ☆セブン」クリニック&コンサート(6月9日) びわ湖ミュージックコネクト(2公演)
人材養成	ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「近江むかしがたり式」(12月15日) 古典芸能キッズワークショップ、華曲ジュニア・アンサンブル(7月～11月) 邦楽専門実演家養成事業(11月～2月)
普及啓発	滋賀県次世代創造発信事業「和のじかん」(10月～2月)
産業振興	ビジネス・カフェin文化産業交流会館(開催日時未定) 近江のあたらしい伝統産業展(7月27日、28日)

- ◆地域創造部の主な事業◆

地域連携	びわ湖・アーティスト・みんぐる(2公演) 滋賀県アートコラボレーション事業(4事業)
文化情報の提供	湖国文化情報「れいか」の発行 年5回発行、30,000部 / 回、県内約500か所の公共施設等に配置 湖国文化誌「湖国と文化」の提供 年4回発行、3,000部 / 回、うち、420部を県内外図書館、大学等に配布

## 施策の柱1 場をつくる

### 滋賀県希望が丘文化公園

希望が丘文化公園は、琵琶湖東南部に位置する丘陵地で、野洲市、湖南市、竜王町にまたがり、東西4km南北1kmにわたる416haの広大な公園である。園内にあるスポーツ施設、青少年宿泊研修所、野外活動施設等を管理運営し、スポーツ・レクリエーション活動、自然体験活動等の主催事業を行っている。

◆施設概要◆(昭和47年4月開設)

#### スポーツゾーン

スポーツ会館、陸上競技場(8レーン)、球技場、野球場、ソフトボール場、テニスコート(屋内:人工芝3面、屋外:人工芝12面、ハード2面)、草野球場、ピクニックランド(13サイト)、フィールドアスレチック、グラウンドゴルフ場(32ホール)、芝生ランド、子どもひろば、グリーンアドベンチャー、サイクリングロード

#### 野外活動ゾーン

野外活動センター、キャンプ場、ロッジ、パートセンター、オリエンテーリング雨天活動場

#### 文化ゾーン

青年の城(最大360名宿泊可能)、多目的広場、桜の森、ファイヤー場、ウォークラリー、オリエンテーリング、ディスクゴルフ、サイクリングロード



球技場(R3年3月改修完了)

### 希望が丘文化公園管理運営委託(指定管理)

<指定管理者>

公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園

#### ◆主な事業◆

自然を体験し楽しみながら学ぶ場の提供	希望が丘里山楽校(5月) 希望が丘夏休み自然塾(7月) 希望が丘冬の林間スクール(1月)
交流・憩いの場の提供	希望が丘新緑祭(5月) 希望が丘ふれあい祭(11月) 希望が丘スプリングフェスティバル(3月)
スポーツ健康づくり	希望が丘ハイキング(4月、6月、10月、3月) 滋賀県スポーツ少年団サッカー交流大会(6月) BIWAKOクロカン2024(2月)
社会教育・生涯学習の支援	希望が丘アウトドアスクール(通年) クラブ&フィールドゲーム事業(通年)



陸上競技場(R3年12月改修完了)

4

## 施策の柱2 人を育む

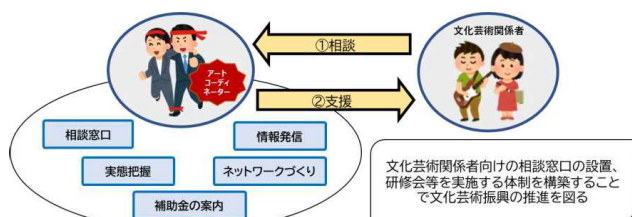
文化芸術を企画・総括するアートマネージャー、地域や学校等と芸術家等をつなぐコーディネーター、文化ボランティアなど、文化芸術を県民や社会とつなぐ人材や文化芸術の創り手や継承者の育成、確保を目指す。

### 文化芸術振興施策推進体制の構築事業

文化芸術活動者向けの相談窓口の設置、研修会や交流会を開催することで、文化芸術をつなぎ支える人材の育成や確保、文化芸術の創り手や継承者の育成と支援を行う。

#### <概要>

- 相談窓口の設置  
文化芸術活動における助言、支援、ノウハウの提供を行う。
- 研修会・交流会の開催  
文化芸術活動者に必要な情報を得る研修会を実施し、ネットワーク構築を行う。
- 調査・情報収集・分析の実施  
県内文化芸術活動者や文化資源を発掘・活用するための調査事業を行う。
- 情報発信  
文化芸術ポータルサイトを活用し情報発信を行う。



### 滋賀県文化賞

本県の文化の高揚に貢献し、その功績が顕著な者を顕彰するため、滋賀県文化賞等の表彰を実施。(昭和51年に制度創設、令和6年度で49回目。)

表彰の区分:文化賞、文化功労賞、文化奨励賞、次世代文化賞の4つ

従来は推薦者を県内の市町、県内大学、文化団体等に限定していたが、候補者の確保・充実のため、平成30年度から推薦者を限定しないこととしている。

◆令和5年度 滋賀県文化賞等受賞者◆

※下段は受賞部門

滋賀県文化賞	濱田 弘明 芸術文化(美術)	
滋賀県文化功労賞	高橋 利明 郷土文化(文化財)	特定非営利活動法人大津祭曳山連盟 郷土文化(伝統芸能)
	フィガロホール 芸術文化(音楽)	
滋賀県文化奨励賞	奥田 誠一 芸術文化(美術)	川合寺町桜画展開催委員会 芸術文化(美術)
	日下部 裕子 芸術文化(ネイルアート)	
滋賀県次世代文化賞	横井 茂虎 芸術文化(音楽)	

令和5年度贈呈式の様子



5



## 施策の柱3 地域や社会に活かす

文化芸術を国際交流や観光、産業、福祉、教育等と連携させ、文化芸術が持つ多様な価値を地域づくりや経済の活性化等に活かすことを目指す。

### 文化資源を活用したツアー造成事業

2025年に開催される「国スポ・障スポ大会」、「大阪・関西万博」に向けて、本県が有する文化資源を活用したツアー造成を行うことで文化観光を推進する。

#### <概要>

びわ湖ホールや県立美術館等、国際的水準の文化芸術を有する強みを活かした文化芸術施設の周遊ツアーを造成することで、効果的な文化観光の推進を図る。  
また、県商工観光労働部観光振興局の「滋賀の文化観光推進事業」と連携し、一体的に取り組む。



### 近江文化発見・発信事業

滋賀ゆかりの文学作品等を通じて、県民が滋賀の歴史・風土・文化等を改めて認識し、地域への愛着を深めるとともに、その魅力を発信する。

#### <概要>

令和6年度は若者が文芸活動を通じて滋賀の文化等の魅力を発見し、その発表機会を提供するため、「滋賀県高校生俳句コンクール」を令和3年度、4年度に引き続き実施する。

現地を体験しながら俳句を作る楽しさを感じることができる俳句のワークショップ若い世代を対象に実施する。



令和5年度事業  
司馬遼太郎生誕100年  
記念朗読会『関ヶ原』



松尾芭蕉ゆかりの  
幻住庵



滋賀県高校生  
俳句コンクール

## 施策の柱3 地域や社会に活かす

### 障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業

市町の文化施設と連携した誰もが楽しめる文化芸術プログラムを開催する。

- 令和6年度開催地(予定): 東近江市、大津市、高島市
- 活動実績  
令和3年度: 守山市、長浜市、高島市  
令和4年度: 守山市、長浜市  
令和5年度: 守山市、長浜市、東近江市、甲賀市



情報保障を行ったミュージカル公演の様子(令和5年度)



障害のあるアーティストとの  
ダンス公演の様子(令和5年度)



情報保障を行った  
演劇公演の様子(令和5年度)

### 滋賀次世代文化芸術センター「文化芸術連携授業」

県内小中学校等の児童・生徒などに対し文化芸術に触れる体験授業を実施している「滋賀次世代文化芸術センター」の運営を支援し、「文化芸術連携授業」などを実施。

- 活動内容: 陶芸体験、音楽プログラム、茶道体験など
- 活動実績: 令和5年度 26校 4,571名、令和4年度 24校 4,615名

### 美ココロ・パートナーシップ事業

多様な環境下にある子どもたち(不登校や適応指導教室等)に通う児童・生徒を対象に、文化芸術体験プログラムを提供し、様々な芸術に触れる機会を提供。また、講師となる若手芸術家を「美ココロ・パートナー」として育成する取組を支援。

- 活動内容: 陶芸体験、音楽プログラム、茶道体験など
- 活動実績: 令和5年度 18校 355名、令和4年度 15校 305名



## 施策の柱3 地域や社会に活かす

文化財が持つ魅力に光を当て、地域の人々や支援者等とともに保存や幅広い活用に取り組むことで、文化財やそれらを育んできた地域に対する人々の理解や関心を深め、文化財を未来に確実に継承することを目指す。

### 文化財保護助成事業・指定文化財管理事業

国・県指定文化財の所有者または管理団体が実施する保存修理事業、管理事業等に対して、滋賀県文化財保存基金等を利用して助成。

### 文化財保存修理受託事業

国指定文化財建造物の保存修理事業を、滋賀県が所有者から受託し、計画的に保存修理を実施。

- ・国宝延暦寺根本中堂ほか1棟保存修理事業
- ・重要文化財不動寺本堂保存修理事業
- ・重要文化財小田神社楼門保存修理事業

### 新・琵琶湖文化館整備推進事業

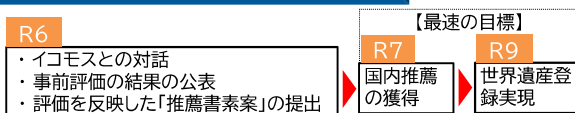
新・琵琶湖文化館の令和9年度中の開館に向け整備を推進する。

R5	R6	R7	R8	R9
入札 業者決定	設計		建設・開館準備	開館

### 新文化財を支える人・地域魅力発信事業

- ・文化財の保存を担う人材育成
- ・文化財の保存継承を担う人の思いや魅力を発信

### 「彦根城」世界遺産登録推進事業



※事前評価の結果により変更が生じる場合もある。

### 「幻の安土城」復元プロジェクト事業

安土城の実像を明らかにし、目に見える形で復元し安土城の価値・魅力を発信。

- ・安土城の実像解明と保全  
特別史跡安土城跡調査整備事業の実施(天主台の発掘等) ほか
- ・安土城見える化の推進  
デジタル技術を活用した「幻の安土城」見える化アプリの作成、  
安土城考古博物館の展示改修 ほか
- ・復元に向けた機運醸成

### 文化財の子はぐくみ事業

- ・文化財の保存継承に係る様々な技術を持つ職人たちを一堂に会して、子ども達が技術に触れるイベントを実施する。

### 「近江の城」魅力発信事業

県内外に「近江の城」の魅力を発信し、城郭を基点に県内周遊を促す。

- ・東京シンポジウム・東京講座の開催や全国イベント(大阪、横浜)への出展により近江の城を県外に発信
- ・出張！お城EXPOの開催や連続講座「近江の城郭」探訪会の開催などにより近江の城の魅力を発信



### 新琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業

琵琶湖の水中遺跡に光を当て、滋賀県ならではの文化財の価値と魅力を発信することにより、水中遺跡の保存と活用を図る。

- ・水中遺跡保存活用に向けた検討
- ・水中遺跡発見100周年記念講演会、資料展示会

## 施策横断プロジェクト 滋賀の美の魅力発信

『美の魅力にあふれる滋賀をみんなの美術館に』というコンセプトのもと、県立美術館を拠点として、美術館の活動と、滋賀の各地域に存在している多様な美の魅力を伝える活動を関連付け、多くの方々の共感・参画を得ながら発信する。

### 滋賀ならではの各地の多様な美の魅力を伝える

#### 美の資源活用推進事業

県内各地にある滋賀ならではの文化的資源を活用・発信する取組を支援し、その成果について発表をおこなう。

○事業対象者：県内に所在または活動の拠点を有する団体、市町等

◆参考実績：令和5年度「滋賀をみんなの美術館に」プロジェクト推進事業実施団体一覧

団体等名	所在地
石部芸術祭実行委員会	湖南市
AT ARTS	長浜市
近江の祭り研究所	野洲市
湖北アーカイブ研究所	長浜市
電車と青春21文字プロジェクト	大津市
BIWAKOアーティストインレジデンス実行委員会	大津市
文化遺産としての松明を次世代へ贈る会	近江八幡市



文化遺産としての松明を次世代へ贈る会

#### ぐるっと美の魅力発信事業

県内外の多くの方に、観光客が数多く訪れる地域での福祉の現場から生まれた造形作品の展示やモデルツアーを行うとともに、情報交換等を行うネットワーク組織の取組を推進する。

◆令和5年度作品設置先◆

設置先	所在地
里湯昔話雄山荘	大津市
おごと温泉びわ湖花街道	大津市
料理旅館塩野温泉	甲賀市
尾上温泉 旅館 紅鮎	長浜市



おごと温泉びわ湖花街道での展示

### 滋賀県立美術館の活動



#### 展覧会の開催

開館40周年を記念して、滋賀にゆかりの作家や、特徴的なコレクションを軸に多彩な切り口で展覧会を開催。

◆令和6年度展覧会予定◆

企画展	開催時期
つくる冒険 日本のアール・ブリュット45人	4/20-6/23
滋賀の家展	7/13-9/23
生誕100年記念 人間国宝 志村ふくみ展	10/8-11/17
BUTSUDORI展(仮)	1/18-3/23

<常設展>コレクションから名品を選びすぐった「SMoAコレクション」や、小倉遊電作品にいつでも出会えるコーナーなどを通年展示



#### 教育・交流事業の展開

- ①学校・教育委員会との連携による団体鑑賞や出前授業のプログラム
- ②対話を通じて鑑賞を深める対話鑑賞プログラムなど、様々な世代に対応する鑑賞・体験プログラム
- ③館内や地域での活動のパートナーとなるボランティア制度

■ワークショップシリーズ「美の糸ローアートにどばん！」  
美術館と県立図書館・びわこ文化公園管理事務所・埋蔵文化財センター、県内の団体・施設と連携し、アートをはじめ様々な体験を楽しめる、ワークショップを年間を通じて開催。



#### 美術館魅力向上の取組

「美術館魅力向上ビジョン」(R6.3策定)に基づき、子どもから大人まで、県内外からの多くの来館者で賑わう存在感のある施設となることをめざし、美術館の魅力や機能の向上をはかる取組を行う。

- ①美術館の施設機能や公園の魅力向上する整備基本計画の策定に着手
- ②案内表示の改善や野外作品の設置に向けた検討や、植栽の改良などを実施